

『子どもにツケを残さない!』『環境未来都市の実現!』

所沢市議会議員 谷口まさのり発行

谷口まさのり 所沢市政レポート

2015年12月議会/その他報告/2月28日(日) 谷ロミーティングご案内編

連絡先: 〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話: 04-2941-5111 / FAX: 04-2941-5112

・メール: tani.eco@dream.ocn.ne.jp

・ツイッターも頑張ってます! 『谷口まさのり』で検索下さい!

フェイスブックで細かく発信

しております! 『レポート見ました』

と、お気軽に友達申請して下さい。

子どもにツケを
残さない!!



- ◆東京大学先端科学技術研究センター内にある、新タイプの太陽光発電の技術研究組合と所沢市との実証実験の『橋渡し役』を果たす! (11月24日に協定締結)
- ◆2060年所沢市の人口27万人維持の『人口ビジョン』に対して提言。
- ◆2012年10月提言の旧水道庁舎の用地売却を含む資産有効活用の推移質す!

1) 有機系太陽電池の実証実験の橋渡し(東京大学先端科学技術センター内組織との)

私は議会において、従来から太陽光発電を含む自然エネルギー導入推進を強力に主張、また新タイプの太陽光発電の技術開発に向けて、所沢市が実証実験に参加できるような構想を提言してまいりました。(昨年6月議会では、ペロブスカイト型を含む新タイプの太陽光発電の今後の実証実験構想を提言)そして、この度、私自身、その実験実現の『橋渡し役』を果たすことができましたので、以下に報告致します。

今回使用する『有機系太陽電池』は低日射・低光量・影になっても発電するタイプで、更に蓄電ができ、日没後の夜間に緑色に発光する仕組みになっております。実験は航空公園駅周辺に有機系太陽電池を設置し(右下写真の四角いもの)、市は場所の提供を行い、実験にかかる費用については市の負担はゼロとなっております。

(実証実験の実現までの経緯)

①(昨年7月末)私が東京ビッグサイトで開催された『再生可能エネルギー展示会』に参加したところ、偶然にも、直近の議会で取り上げた、ペロブスカイト型の太陽光発電を研究している東京大学の研究室が出展しており、その場で先方と様々な意見交換を行い、現段階で実証実験可能なレベルまで開発が進んでいる有機系太陽電池(ペロブスカイトとは違うタイプ)について、実証実験のパートナーになってくれる自治体を探しているというニーズを把握。

↓

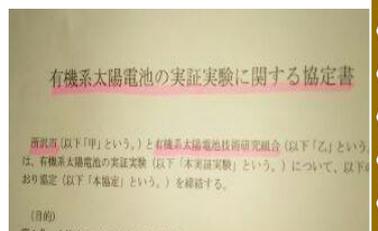
②上述情報を市の環境部門に伝え、まずは意見交換会という位置づけで私の方で双方の日程を調整し、東京大学側(正式には東京大学先端科学技術研究センター内にある、有機系太陽電池技術研究組合、略称RATO)と8月下旬に設定。

↓

③(8月下旬)東京大学駒場第2キャンパス内にある、上述センター内で、進行役として私の方で意見交換会を進めさせて頂き、所沢市環境部門、RATO側のそれぞれが今までの取り組みを説明、意見交換。そして、RATO側の詳細ニーズを確認。

↑今回設置の自発光誘導灯
次の打合せ日程を設定(9月中旬に)し、かつ実証実験に進む場合を想定し、候補となる現場を見学できるように所沢市役所内で行うことを決定。

裏面へ



④(9月中旬の)2回目以降の打合せは、市環境部門とRATOが直接行い、市環境部門に実証実験実現までの段取りを積極的に進めて頂き、最終的に所沢市として意思決定し、実証実験の協定を締結(11/24)。現在実験が行われております。(来年2月末までの予定)

今回の実証実験が今後、新タイプの太陽電池の開発につながることを期待され、また所沢市が環境対策に関連した技術開発に積極的に協力する自治体であるという実績を広く発信することで、他の組織からも実証実験等のオファーが持ち込まれる可能性が広がり、市として環境問題解決に向けての更なる貢献ができるものと考えます。

年々、気候変動が激しくなり、ゲリラ豪雨の多発、そして、今冬は年末に神奈川県内で菜の花が咲き出し、年明け直後には所沢市内で梅が咲き出す等、明らかに地球温暖化が加速していると、私は改めて大変な危機感を抱いております。残念ながら、**この地球温暖化は簡単には解決できないレベルまで進んでおりますが、抑制の一つの方向としては、間違いなく、自然エネルギーの大胆かつ早期の拡大であると私は確信しております。**これからも、私、谷口まさのりは地球温暖化防止(抑制)に向けて積極的に活動してまいります。



2) 所沢市『人口ビジョン』(2060年に27万人維持)に対する提言

現在34万人の市人口が45年後に27万人を維持すること(合計特殊出生率が現在の市の1.21から将来1.8人へ)を目指すとしているが、この目標も簡単ではなく、**今後早期に『人口急減対策チーム』といった組織横断的グループを立ち上げて取り組むことを提言致しました。**

3) 旧水道庁舎用地の売却を含む有効活用提言(2012年10月)の推移(要旨)

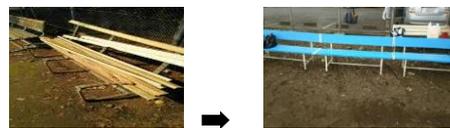


←谷口: 2012年10月の決算委員会で私は旧水道庁舎用地の売却の可能性について提言した。その後(昨年6月)、市から他の議員への答弁内容から判断すると、状況に大きな変化があったと認識したが、今後の方向性を確認したい。

上下水道管理者: 旧水道庁舎用地は資産価値も高く、直接的に水道事業に供するのではなく、経済的価値に着目して収益性も視野に入れた活用方法を現在検討している。

谷口の見方 ⇒ 今後、旧水道庁舎の用地の活用に関しては大きな動きが出ることも想定され、推移を注視してまいります。 - 以上 -

(オマケ報告): 『林グラウンドの古いベンチはさすがに限界!』と、現場で写真撮影、それを市担当部門に持参し要求。新しいベンチ6セットが入りました!



2/28 谷口まさのり所沢タウンミーティング

参加者の皆様から『所沢市で今後このような取組をしたら良いのでは?』という取組みアイデアをお聞かせいただく場としたいと思います。またミーティング終了後には会場を変えて会費制で食事をしながらの交流会も予定しております。お気軽にご参加下さい。

◆ 2/28(日) 15:20~16:45 (←ミーティングは無料、予約不要)

会場: 狭山ヶ丘コミュニティーセンター2F学習室(18席)

◆ **谷口まさのり経歴** ・昭和40年 北海道生まれ、埼玉大学 工学部 環境化学工学科卒業
栗田工業(水処理環境系)や省エネ企業に計15年間在籍 ・1997年地球温暖化防止 京都會議に参加・2011年4月所沢市議選初当選、2015年4月に2期目の当選をさせていただきました。
趣味等: スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員)、カラオケ、カブトムシ採り ・環境カウンセラー(環境省資格) / 社会保険労務士(年金と雇用の関連資格) / 認知症サポーター
★ 駅では原則、始発前から活動レポートを配布しており、**最近『始発の谷口』『始発男』と**言われております。